中2 理科 ノート こたえ　　名前＿＿＿＿＿＿＿＿

地球 8 日本の天気の特徴

＿＿＿月＿＿＿日

今日の問い

日本の天気は、季節によってどうちがい、くらしにどう関わるのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。図の □ にも名前を書こう。

1 日本付近に影響する気団は何か。

冬・初夏・夏

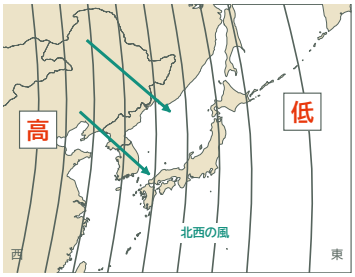
日本付近には、冬の[1]**シベリア気団**、初夏の[2]**オホーツク海気団**、夏の[3]**小笠原気団**が影響する。シベリア気団は冷たく乾燥し、小笠原気団はあたたかく湿っている。



2 冬の天気図には、どんな特徴があるか。

西に高気圧・東に低気圧

冬は西に高気圧、東に低気圧の[4]**西高東低**になる。シベリア気団から[5]**北西**の季節風が吹き、日本海側に[6]**雪**を降らせる。太平洋側は晴れて乾燥する。



3 梅雨や夏の天気は、どうなるか。

停滞前線・南高北低

初夏はオホーツク海気団と小笠原気団の間に[7]**停滞前線**（梅雨前線）ができ、[8]**梅雨**のぐずついた天気が続く。夏は南に高気圧、北に低気圧の[9]**南高北低**になり、蒸し暑い。

4 春や秋の天気と、台風・災害は。

移動性高気圧・台風

春や秋は[10]**移動性高気圧**と低気圧が交互に通り、天気が周期的に変わる。夏から秋は[11]**台風**が近づき、大雨や強風をもたらす。災害に備え、[12]**ハザードマップ**で危険な場所を調べる。

まとめ　今日の問いに答えよう。「西高東低」「台風」の2語を使って、2文で書きなさい。

（例）冬は西高東低の気圧配置になり、北西の季節風で日本海側に雪が降る。夏から秋は台風が近づいて大雨や強風になることがあるので、災害への備えが大切である。

ちりつもドリル 学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。